

## 第3学年 国語科学習指導案

### 1 単元名

和歌の魅力を考え、感覚を磨こう  
－ひとことで味わう和歌－

### 2 単元の目標

- (1) 歴史的背景などに注意して古典を読むことを通して、その世界に親しむことができる。  
〔知識及び技能〕(3) ア
- (2) 文章を読んで考えを広げたり深めたりして、人間、社会、自然などについて、自分の意見をもつことができる。  
〔思考力、判断力、表現力等〕C(1) エ
- (3) 言葉がもつ価値を認識するとともに、読書を生活に役立て、我が国の言語文化を大切に  
して、思いや考えを伝え合おうとする。  
「学びに向かう力、人間性等」

### 3 本単元における言語活動

詩歌や小説などを読み、批評したり、考えたことなどを伝えあったりする活動。  
(関連：〔思考力、判断力、表現力等〕C(1) イ)

### 4 評価規準

知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
①歴史的背景などに注意して 古典を読むことを通して、 その世界に親しんでいる。 (〔3〕ア)	①文章を読んで考えを広げたり 深めたりして、人間、社 会、自然などについて、自分 の意見をもつことができ ている。(C(1)エ)	①和歌について意味や作成の 背景などを進んで知ろうと している。また、和歌の魅 力を進んで考えようとして いる。

### 5 単元について

#### (1) 本単元を貫く言語活動と扱う教材

本単元では、和歌についてその魅力を集め、記事にしていくことを通して、和歌に詠まれている人間や社会、自然について、自分の考えや意見をもつ活動を行う。これは、中学校学習指導要領国語編（平成29年告示）の第3学年、2〔思考力・判断力・表現力等〕C読むことの言語活動例「詩歌や小説などを読み、批評したり、考えたことなどを伝えあったりする活動。」を踏まえている。

和歌は、31音という短い音の中に、詠み手や人々の心情や状況、季節の姿など人間の思い、自然について詠みこんでできているものである。また、それらのものを十分に表現するために様々な表現技法が用いられることも多い。このような和歌を教材として用いることで、生徒にとっては読むことへの抵抗を少なくし、また、様々な言葉を工夫して、短い言葉の中に人間や自然について表現しているために親しみやすくできると考える。さらに、和歌に触れることで、新たな言葉と出会い、表現に触れ、言語感覚を磨くことで語彙を獲得しつつ、自分の考えを形成し、表現する力につなげていけるものと考えた。本単元では、和歌の魅力を以下のように考える。①1000年以上前の歌でありながら、現代に通ずるものがある点。②和歌を通して、自然への思索など、現代で見落としがちなものに考えを馳せることができる点。③多様な表現や技法を用いて、自らの感じたものをより深く、効果的に表現している点。このような和歌の魅力に迫っていく中で、生徒がそこに表れた思いや思索を味わうことができると考える。

今回、教材として扱う和歌は「万葉集」「古今和歌集」「新古今和歌集」より、計32首を用意した。用意した和歌は、生徒たちが持っている「国語活用資料集（千葉県版）」（新学社）を中心とし、選出したものである。和歌の特徴の1つである「31音で表現されている歌」

であり、「恋や離別など感情を詠んだ歌」または「自然について詠んだ歌」から選出し、生徒が触れ、考え、読み解いていくのに、自分に置き換えやすく、感覚として分かりやすいと考えられた歌を用意したものである。また、資料集からの歌を選出することで、歌集ごとの特徴や表現技法に触れながら、教科書以外の様々な歌について学んでいけるものとする。

(2) 本単元で身に付けさせたい力

本単元では、和歌について背景をふまえて評価し、伝え合う言語活動を通して、〔思考力、判断力、表現力等〕の「C(1) エ文章を読んで考えを広げたり深めたりして、人間、社会、自然などについて、自分の意見をもつ」力を身に付けさせたい。また、そのためには〔知識・技能〕の「(3) ア歴史的背景などに注意して古典を読むことを通して、その世界に親しむこと。」が必要であるとする。本単元の学習を通して、自分がなぜ和歌に魅力を感じたのかを整理し、表現していく中で、和歌に表現された人物の思いや自然に対する思索について触れ、自らの生活や経験と重ね、自分の考えを広げたり深めたりすることができるようにしたい。

6 指導と評価の計画 (全6時間)

次		主たる学習活動	評価する内容	評価方法
1	1	○本単元の要点を押さえ、見通しをもつ。 ○和歌(和歌集)について知る。		
2	2	○気になる和歌を探し、調べる和歌を選ぶ。	〔主体的に学習に取り組む態度〕	ワークシート
	3	○選んだ和歌について「視点」をもとに調べる ○選んだ和歌の「魅力」をスライドに表す	〔知識・技能〕 〔主体的に学習に取り組む態度〕	ワークシート
	4		〔思考・判断・表現〕	Google スライド
3	5	○調べた和歌の「魅力」を紹介する。 ○単元の振り返りを行う。		

7 指導計画 (全5時間)

次	主たる学習活動	指導上の留意点	評価基準・評価方法
1 (1)	○本単元の要点を押さえ、見通しをもつ。  ○「古今和歌集 仮名序」より和歌には「詠んだ人の思い」や「詠まれた状況」があることを掴む。	<ul style="list-style-type: none"> <li>モデルを提示し、生徒が活動の見通しをもちやすいようにする。</li> <li>クラスメイトに紹介することを伝え、活動への目的意識をもたせる。</li> <li>和歌について「詠んだ人の思い」や「詠まれた状況」に注意して読んでいくように注意する。</li> <li>「古今和歌集 仮名序」を用いて和歌の根本が人間の心にあることに触れる。</li> </ul>	
2 (2～4)	○用意した和歌一覧や資料集などから調べる和歌を選ぶ。  ○選んだ和歌について「視点」を	<ul style="list-style-type: none"> <li>意味を参考にしながら、自分がよいと感じた和歌を選ぶようにする。</li> <li>なかなか決まらない生徒には指導者から調べる和歌を振るようにする。</li> <li>和歌を調べる際にワークシートの</li> </ul>	〔知識・技能〕 ワークシート 自分の選んだ和歌について「視点」をもとに理解しようとしている。

	<p>もとに背景などを調べる</p> <p>○調べたことをもとに、選んだ和歌の「魅力」を考え、スライドに表す。</p>	<p>「視点」を参考にするよう指導する。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・「魅力」を考える際に調べた内容のうちどれが重要となるか考えるようにする。</li> <li>・「魅力」を考えることが難しい生徒には観点として「①現代と通じる点がないか」や「②何か気付かされることはないか」などを示す。</li> <li>・スライドに表す際には、アニメーション等を入れず、一目でわかるものを作成するように注意する。</li> <li>・一言で表す際には考えた「魅力」をもとに要点を考えさせる。</li> </ul>	<p>〔思考・判断・表現〕</p> <p>Google スライド</p> <p>自分なりに和歌の「魅力」を考えている。</p> <p>〔主体的に学習に取り組む態度〕</p> <p>ワークシート</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・選んだ和歌について資料をもとに読み取ろうとしている。</li> </ul>
3 (5)	<p>○調べた和歌の「魅力」を紹介する。</p> <p>○単元の振り返りを行う。</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・スライドを用いて発表を行う際に、スライドの情報をより具体的に伝えるように指導する。</li> <li>・生徒の考えたひとことをもとに、「人間」「自然」「社会」などのテーマに気付かせるようにする。</li> <li>・和歌の「魅力」を考えるを通して、自分が何を考えられたのかについて振り返りさせる。</li> </ul>	

## 8 本時の計画 (3/5 時間目)

### (1) 本時の目標

- ・調べた和歌がどのような「魅力」をもつのか、自分の考えをもつことができる。

〔思考・判断・表現〕

### (2) 本時の展開

	学習活動	指導上の留意点	評価方法
導入 (5分)	<p>○前時までの振り返りを行う。</p> <p>○本時の学習課題を確認する。</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・前時までの生徒の様子をもとに調べる「視点」についてフィードバックを行う</li> <li>・残り2時間の中で計画的に進めるように指導する。</li> </ul>	
	<div style="border: 1px solid black; padding: 5px; display: inline-block;">自分が選んだ和歌の「魅力」を考えよう</div>		

<p>展開 (38分)</p>	<p>○「視点」をもとに、選んだ和歌について調べる。</p> <p>○調べたことをもとに、選んだ和歌の「魅力」を考える。</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・調べる際にワークシートに示した「視点」を参考にするように伝える。</li> <li>・和歌に応じてどの「視点」が深く関わるか異なるので、様々な「視点」から調べるように伝える。</li> <li>・モデルを再提示し「魅力」を考える際の糸口となるようにする。</li> <li>・調べた「視点」のから選んだ和歌にとって大切だと考えるものを参考にるように伝える。</li> <li>・「魅力」とつなげることに課題を抱える生徒には以下のようにする。</li> <li>①「現代とつながることはないか」や「何か気付かされたことはないか」など定義した「魅力」につながる発問を行う。</li> <li>②生徒のワークシートの内容に応じて、定義した「魅力」とのつながりを示す。</li> </ul> <p>(例)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・背景にある考え→現代とつながる</li> <li>・詠まれた景色→気付かされる</li> <li>・表現技法→効果的な使用 など</li> <li>・スライドを作成する際に、アニメーション等にこだわらず、要点を一目でわかるように作成させる。</li> </ul>	<p>[思考・判断・表現]</p> <p>Google スライド</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・調べた和歌についてどのような「魅力」をもつのか、自分なりの考えをもっている。</li> </ul>
<p>まとめ (7分)</p>	<p>○本時の振り返りを行う。</p> <p>○次時の見通しをもつ。</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・振り返りシートの記入を行う際に、自分の活動に則して考えるように伝える。</li> <li>・次の時間に「魅力」を考え、スライドに表すところまで終えるように伝える。</li> </ul>	

### (3) 本時の評価基準

- ・調べた和歌がどのような「魅力」をもつのか、自分の考えをもつことができている。

[思考・判断・表現]

## 9 単元の観点別学習状況の評価の総括

	知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
B 生徒の 状況 と判断 される	<ul style="list-style-type: none"> <li>自分の選んだ和歌について内容を理解して読むことができる。 (ワークシート)</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>和歌を読むことを通して自分の感覚と重ねて「魅力」を考えることができる。 (Google スライド)</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>自分の選んだ和歌について、意味や詠まれた心情を進んで資料から読み取ろうとしているか。 (ワークシート、観察)</li> </ul>
A 生徒の 状況 と判断 される	<ul style="list-style-type: none"> <li>自分の選んだ和歌について歴史的背景や文化を理解して読むことができる。 (ワークシート)</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>和歌を読み、古典特有の表現に触れて「魅力」を考えることができる。 (Google スライド)</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>自分の選んだ和歌について、複数の資料から情報を集め、集めた情報を吟味し、意味や詠まれた心情を読み取ろうとしている。 (ワークシート、観察)</li> </ul>